開講年度	令和　4　年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導Ｉ			担当者名	長谷川　靖洋・董　信子
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 30 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	前期はビジネスマナーおよび面接対策・人との接し方、後期は面接対策・自己分析を行う。				
到達目標	専門学校生、また公務員試験に向かう者としてのビジネスマナーや面接マナーが分かるようになる。また、自己分析により、自分をより深く知り、自己ＰＲにつなげられるようになる。				
担当教員実務経験	長谷川：学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。 董：客室乗務員として国際線に乗務し、機内通訳や機内アナウンスも担当。この経験から学んだことをもとに、面接対策だけでなく、社会人として必要なマナーや良いコミュニケーションの取り方なども伝えていく。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	2	自己分析（自身の長所・短所等） 公務員試験受験指導、適性検査	
2	4/14(木)	2	身だしなみとおしゃれの違い 公務員試験受験指導、適性検査	
3	4/21(木)	2	第一印象に必要な５要素　挨拶 公務員試験受験指導、適性検査	
4	4/28(木)	2	第一印象に必要な５要素　表情 公務員試験受験指導、適性検査	
5	5/19(木)	2	第一印象に必要な５要素　立居振舞 公務員試験受験指導、適性検査	
6	5/26(木)	2	第一印象に必要な５要素　声・発声 公務員試験受験指導、適性検査	
7	6/2(木)	2	第一印象に必要な５要素　敬語等 公務員試験受験指導、適性検査	
8	6/9(木)	2	第一印象に必要な５要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
9	6/16(木)	2	第一印象に必要な５要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
10	6/23(木)	2	既出質問研究 公務員試験受験指導、適性検査	
11	6/30(木)	2	面接対策　グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
12	7/7(木)	2	面接対策 グループディスカッション 公務員試験受験指導	
13	7/14(木)	2	模擬面接　グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
14	7/21(木)	2	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	
15	7/28(木)	2	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　50　％	学習成果評価（定期試験）　50　％

開講年度	令和　4　年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導Ⅰ			担当者名	長谷川　靖洋・董　信子
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16	9/22(木)	2	公務員面接試験受験指導	
17	9/29(木)	2	公務員面接試験受験指導	
18	10/6(木)	2	公務員面接試験受験指導	
19	10/13(木)	2	公務員面接試験受験指導	
20	10/20(木)	2	公務員面接試験受験指導	
21	10/27(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
22	11/10(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
23	11/17(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
24	11/24(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
25	12/1(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
26	12/8(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
27	12/22(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
28	1/12(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
29	1/19(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
30	1/26(木)	2	後期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導Ⅰ			担当者名	瀬木　翼・董　信子
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 30 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	前期はビジネスマナーおよび面接対策・人との接し方、後期は面接対策・自己分析を行う。				
到達目標	専門学校生、また公務員試験に向かう者としてのビジネスマナーや面接マナーが分かるようになる。また、自己分析により、自分をより深く知り、自己ＰＲにつなげられるようになる。				
担当教員実務経験	瀬木：学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。 董：客室乗務員として国際線に乗務し、機内通訳や機内アナウンスも担当。この経験から学んだことをもとに、面接対策だけでなく、社会人として必要なマナーや良いコミュニケーションの取り方なども伝えていく。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	2	自己分析（自身の長所・短所等） 公務員試験受験指導、適性検査	
2	4/14(木)	2	身だしなみとおしゃれの違い 公務員試験受験指導、適性検査	
3	4/21(木)	2	第一印象に必要な５要素　挨拶 公務員試験受験指導、適性検査	
4	4/28(木)	2	第一印象に必要な５要素　表情 公務員試験受験指導、適性検査	
5	5/19(木)	2	第一印象に必要な５要素　立居振舞 公務員試験受験指導、適性検査	
6	5/26(木)	2	第一印象に必要な５要素　声・発声 公務員試験受験指導、適性検査	
7	6/2(木)	2	第一印象に必要な５要素　敬語等 公務員試験受験指導、適性検査	
8	6/9(木)	2	第一印象に必要な５要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
9	6/16(木)	2	第一印象に必要な５要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
10	6/23(木)	2	既出質問研究 公務員試験受験指導、適性検査	
11	6/30(木)	2	面接対策　グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
12	7/7(木)	2	面接対策 グループディスカッション 公務員試験受験指導	
13	7/14(木)	2	模擬面接　グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
14	7/21(木)	2	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	
15	7/28(木)	2	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　50　％	学習成果評価（定期試験）　50　％

開講年度	令和　4　年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導Ⅰ			担当者名	瀬木　翼・董　信子
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16	9/22(木)	2	公務員面接試験受験指導	
17	9/29(木)	2	公務員面接試験受験指導	
18	10/6(木)	2	公務員面接試験受験指導	
19	10/13(木)	2	公務員面接試験受験指導	
20	10/20(木)	2	公務員面接試験受験指導	
21	10/27(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
22	11/10(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
23	11/17(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
24	11/24(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
25	12/1(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
26	12/8(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
27	12/22(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
28	1/12(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
29	1/19(木)	2	漢字検定対策　一般常識	
30	1/26(木)	2	後期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導Ⅱ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　1　回で　30　週実施　）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	公務員試験、就職対策についての全般的な指導				
到達目標	社会人としてのビジネスマナーや面接マナーを身に着け、公務員試験、就職試験に合格できるようになる。				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	なし				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
2	4/14(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
3	4/21(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
4	4/28(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
5	5/19(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
6	5/26(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
7	6/2(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
8	6/9(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
9	6/16(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
10	6/23(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
11	6/30(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
12	7/7(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
13	7/14(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
14	7/21(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
15	7/28(木)	2	公務員試験受験指導、適性検査	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　40　%	学習成果評価（定期試験）　60　%

開講年度	令和　4　年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導Ⅱ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16	9/22(木)	2	公務員面接試験受験指導	
17	9/29(木)	2	公務員面接試験受験指導	
18	10/6(木)	2	公務員面接試験受験指導	
19	10/13(木)	2	公務員面接試験受験指導	
20	10/20(木)	2	公務員面接試験受験指導	
21	10/27(木)	2	一般常識、就職指導	
22	11/10(木)	2	一般常識、就職指導	
23	11/17(木)	2	一般常識、就職指導	
24	11/24(木)	2	一般常識、就職指導	
25	12/1(木)	2	一般常識、就職指導	
26	12/8(木)	2	一般常識、就職指導	
27	12/22(木)	2	一般常識、就職指導	
28	1/12(木)	2	一般常識、就職指導	
29	1/19(木)	2	一般常識、就職指導	
30	1/26(木)	2	後期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（上位）			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	ウイネット　課題処理（判断推理）テキスト＆問題集				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	1	ガイダンス　１章　論理と集合	
2	4/12(火)	2	1章　論理と集合	
3	4/15(金)	1	1章　論理と集合 3章　対応関係	
4	4/19(火)	2	3章　対応関係	
5	4/22(金)	1	3章　対応関係 4章　順序関係	
6	4/26(火)	2	4章　順序関係	
7	4/29(金)	1	4章　順序関係 5章　試合の勝敗	
8	5/10(火)	2	5章　試合の勝敗	
9	5/13(金)	1	5章　試合の勝敗 6章　方位・位置関係	
10	5/17(火)	2	6章　方位・位置関係	
11	5/20(金)	1	6章　方位・位置関係	
12	5/24(火)	2	7章　手順・操作、数量、規則性	
13	5/27(金)	1	7章　手順・操作、数量、規則性	
14	5/31(火)	2	8章　発言推理	
15	6/7(火)	1	8章　発言推理	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（上位）			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/10(金)	2	9章　道順	
17	6/14(火)	1	10章　平面構成・平面分割	
18	6/17(金)	2	10章　平面構成・平面分割 11章　軌跡・回転	
19	6/21(火)	1	11章　軌跡・回転	
20	6/24(金)	2	12章　立体図形の構成	
21	6/28(火)	1	13章　展開図	
22	7/1(金)	2	14章　サイコロ 15章　折り紙・重ね合わせ	
23	7/5(火)	1	15章　折り紙・重ね合わせ 16章　投影図	
24	7/8(金)	2	16章　投影図	
25	7/12(火)	1	17章　立体図形の切断・回転	
26	7/15(金)	2	総合演習問題１	
27	7/19(火)	1	総合演習問題２	
28	7/22(金)	2	総合演習問題３	
29	7/26(火)	2	総合演習問題４	
30	7/29(金)	1	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（上位）			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	ウイネット　課題処理（判断推理）テキスト＆問題集				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	1	ガイダンス　１章　論理と集合	
2	4/12(火)	2	1章　論理と集合	
3	4/15(金)	1	1章　論理と集合 3章　対応関係	
4	4/19(火)	2	3章　対応関係	
5	4/22(金)	1	3章　対応関係 4章　順序関係	
6	4/26(火)	2	4章　順序関係	
7	4/29(金)	1	4章　順序関係 5章　試合の勝敗	
8	5/10(火)	2	5章　試合の勝敗	
9	5/13(金)	1	5章　試合の勝敗 6章　方位・位置関係	
10	5/17(火)	2	6章　方位・位置関係	
11	5/20(金)	1	6章　方位・位置関係	
12	5/24(火)	2	7章　手順・操作、数量、規則性	
13	5/27(金)	1	7章　手順・操作、数量、規則性	
14	5/31(火)	2	8章　発言推理	
15	6/7(火)	1	8章　発言推理	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（上位）			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/10(金)	2	9章　道順	
17	6/14(火)	1	10章　平面構成・平面分割	
18	6/17(金)	2	10章　平面構成・平面分割 11章　軌跡・回転	
19	6/21(火)	1	11章　軌跡・回転	
20	6/24(金)	2	12章　立体図形の構成	
21	6/28(火)	1	13章　展開図	
22	7/1(金)	2	14章　サイコロ 15章　折り紙・重ね合わせ	
23	7/5(火)	1	15章　折り紙・重ね合わせ 16章　投影図	
24	7/8(金)	2	16章　投影図	
25	7/12(火)	1	17章　立体図形の切断・回転	
26	7/15(金)	2	総合演習問題１	
27	7/19(火)	1	総合演習問題２	
28	7/22(金)	2	総合演習問題３	
29	7/26(火)	2	総合演習問題４	
30	7/29(金)	1	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	判断推理Ⅰ（下位）				担当者名	瀬木　翼	
学科	公務員科	コース			学年	1年（A組）	
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。						
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。						
使用教材	ウイネット　課題処理（判断推理）テキスト＆問題集						

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	1	ガイダンス　１章　論理と集合	
2	4/12(火)	2	1章　論理と集合	
3	4/15(金)	1	1章　論理と集合 3章　対応関係	
4	4/19(火)	2	3章　対応関係	
5	4/22(金)	1	3章　対応関係 4章　順序関係	
6	4/26(火)	2	4章　順序関係	
7	4/29(金)	1	4章　順序関係 5章　試合の勝敗	
8	5/10(火)	2	5章　試合の勝敗	
9	5/13(金)	1	5章　試合の勝敗 6章　方位・位置関係	
10	5/17(火)	2	6章　方位・位置関係	
11	5/20(金)	1	6章　方位・位置関係	
12	5/24(火)	2	7章　手順・操作、数量、規則性	
13	5/27(金)	1	7章　手順・操作、数量、規則性	
14	5/31(火)	2	8章　発言推理	
15	6/7(火)	1	8章　発言推理	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（下位）			担当者名	瀬木　翼
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/10(金)	2	9章　道順	
17	6/14(火)	1	10章　平面構成・平面分割	
18	6/17(金)	2	10章　平面構成・平面分割 11章　軌跡・回転	
19	6/21(火)	1	11章　軌跡・回転	
20	6/24(金)	2	12章　立体図形の構成	
21	6/28(火)	1	13章　展開図	
22	7/1(金)	2	14章　サイコロ 15章　折り紙・重ね合わせ	
23	7/5(火)	1	15章　折り紙・重ね合わせ 16章　投影図	
24	7/8(金)	2	16章　投影図	
25	7/12(火)	1	17章　立体図形の切断・回転	
26	7/15(金)	2	総合演習問題１	
27	7/19(火)	1	総合演習問題２	
28	7/22(金)	2	総合演習問題３	
29	7/26(火)	2	総合演習問題４	
30	7/29(金)	1	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（下位）			担当者名	瀬木　翼
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	ウイネット　課題処理（判断推理）テキスト＆問題集				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	1	ガイダンス　１章　論理と集合	
2	4/12(火)	2	1章　論理と集合	
3	4/15(金)	1	1章　論理と集合 3章　対応関係	
4	4/19(火)	2	3章　対応関係	
5	4/22(金)	1	3章　対応関係 4章　順序関係	
6	4/26(火)	2	4章　順序関係	
7	4/29(金)	1	4章　順序関係 5章　試合の勝敗	
8	5/10(火)	2	5章　試合の勝敗	
9	5/13(金)	1	5章　試合の勝敗 6章　方位・位置関係	
10	5/17(火)	2	6章　方位・位置関係	
11	5/20(金)	1	6章　方位・位置関係	
12	5/24(火)	2	7章　手順・操作、数量、規則性	
13	5/27(金)	1	7章　手順・操作、数量、規則性	
14	5/31(火)	2	8章　発言推理	
15	6/7(火)	1	8章　発言推理	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（下位）			担当者名	瀬木　翼
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/10(金)	2	9章　道順	
17	6/14(火)	1	10章　平面構成・平面分割	
18	6/17(金)	2	10章　平面構成・平面分割 11章　軌跡・回転	
19	6/21(火)	1	11章　軌跡・回転	
20	6/24(金)	2	12章　立体図形の構成	
21	6/28(火)	1	13章　展開図	
22	7/1(金)	2	14章　サイコロ 15章　折り紙・重ね合わせ	
23	7/5(火)	1	15章　折り紙・重ね合わせ 16章　投影図	
24	7/8(金)	2	16章　投影図	
25	7/12(火)	1	17章　立体図形の切断・回転	
26	7/15(金)	2	総合演習問題１	
27	7/19(火)	1	総合演習問題２	
28	7/22(金)	2	総合演習問題３	
29	7/26(火)	2	総合演習問題４	
30	7/29(金)	1	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅲ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	公務員試験合格に向け、判断推理の問題演習を行う。				
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	判断推理の問題プリント				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	3	第15章　多面体	
2	4/12(火)	2	第16章　展開図	
3	4/18(月)	3	第17章　立体の切断	
4	4/19(火)	2	第18章　折り紙	
5	4/25(月)	3	判断推理　問題演習　1	
6	4/26(火)	2	判断推理　問題演習　2	
7	5/2(月)	3	判断推理　問題演習　3	
8	5/9(月)	3	判断推理　問題演習　4	
9	5/10(火)	2	判断推理　問題演習　5	
10	5/16(月)	3	判断推理　問題演習　6	
11	5/17(火)	2	判断推理　問題演習　7	
12	5/23(月)	3	判断推理　問題演習　8	
13	5/24(火)	2	判断推理　問題演習　9	
14	5/30(月)	3	判断推理　問題演習　10	
15	5/31(火)	2	判断推理　問題演習　11	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅲ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/6(月)	3	判断推理　問題演習　12	
17	6/7(火)	2	判断推理　問題演習　13	
18	6/13(月)	3	判断推理　問題演習　14	
19	6/14(火)	2	問題演習	
20	6/20(月)	3	平成29年度刑務官試験　解答	
21	6/21(火)	2	平成29年度刑務官試験　解説	
22	6/27(月)	3	平成27年度海上保安学校(特別)　解答	
23	6/28(火)	2	平成27年度海上保安学校(特別)　解説	
24	7/4(月)	3	令和4年度海上保安学校(特別)　解答	
25	7/5(火)	2	令和4年度海上保安学校(特別)　解説	
26	7/11(月)	3	問題演習	
27	7/12(火)	2	問題演習	
28	7/19(火)	2	問題演習	
29	7/25(月)	3	問題演習	
30	7/26(火)	2	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	数的推理Ⅰ（上位）				担当者名	花木　由佳	
学科	公務員科	コース				学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。						
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。						
担当教員実務経験	なし						
使用教材	公務員合格ゼミ　数的推理（いいずな書店）						

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	4	ガイダンス Ⅰ－１　虫食い算	
2	4/13(水)	3	Ⅰ－１　虫食い算	
3	4/18(月)	4	Ⅰ－２　魔方陣	
4	4/20(水)	3	Ⅰ－３　倍数と約数	
5	4/25(月)	4	Ⅰ－３　倍数と約数	
6	4/27(水)	3	Ⅰ－４　整数問題	
7	5/2(月)	4	Ⅰ－４　整数問題	
8	5/9(月)	4	Ⅰ－５　数の性質	
9	5/11(水)	3	Ⅰ－５　数の性質	
10	5/16(月)	4	Ⅰ－６　方程式・不等式	
11	5/18(水)	3	Ⅰ－６　方程式・不等式	
12	5/23(月)	4	Ⅰ－６　方程式・不等式	
13	5/25(水)	3	Ⅰ－７　集合	
14	5/30(月)	4	Ⅰ－７　集合	
15	6/1(水)	3	Ⅰ－８　割合・百分率	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（上位）			担当者名	花木　由佳
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/6(月)	4	Ⅰ－８　割合・百分率	
17	6/8(水)	3	Ⅰ－９　濃度	
18	6/13(月)	4	Ⅰ－９　濃度	
19	6/15(水)	3	Ⅰ－10　対比	
20	6/20(月)	4	Ⅰ－11　利益	
21	6/22(水)	3	Ⅰ－12　速さ	
22	6/27(月)	4	Ⅰ－12　速さ	
23	6/29(水)	3	Ⅰ－12　速さ	
24	7/4(月)	4	Ⅰ－13　場合の数	
25	7/6(水)	3	Ⅰ－14　確率	
26	7/11(月)	4	Ⅰ－14　確率	
27	7/13(水)	3	Ⅱ－１　三平方の定理	
28	7/20(水)	3	Ⅱ－２　円・おうぎ形の面積	
29	7/25(月)	4	Ⅱ－３　立体の体積と表面積	
30	7/27(水)	3	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（上位）			担当者名	花木　由佳
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ　数的推理（いいずな書店）				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	4	ガイダンス Ⅰ－１　虫食い算	
2	4/13(水)	3	Ⅰ－１　虫食い算	
3	4/18(月)	4	Ⅰ－２　魔方陣	
4	4/20(水)	3	Ⅰ－３　倍数と約数	
5	4/25(月)	4	Ⅰ－３　倍数と約数	
6	4/27(水)	3	Ⅰ－４　整数問題	
7	5/2(月)	4	Ⅰ－４　整数問題	
8	5/9(月)	4	Ⅰ－５　数の性質	
9	5/11(水)	3	Ⅰ－５　数の性質	
10	5/16(月)	4	Ⅰ－６　方程式・不等式	
11	5/18(水)	3	Ⅰ－６　方程式・不等式	
12	5/23(月)	4	Ⅰ－６　方程式・不等式	
13	5/25(水)	3	Ⅰ－７　集合	
14	5/30(月)	4	Ⅰ－７　集合	
15	6/1(水)	3	Ⅰ－８　割合・百分率	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（上位）			担当者名	花木　由佳
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/6(月)	4	Ⅰ－８　割合・百分率	
17	6/8(水)	3	Ⅰ－９　濃度	
18	6/13(月)	4	Ⅰ－９　濃度	
19	6/15(水)	3	Ⅰ－10　対比	
20	6/20(月)	4	Ⅰ－11　利益	
21	6/22(水)	3	Ⅰ－12　速さ	
22	6/27(月)	4	Ⅰ－12　速さ	
23	6/29(水)	3	Ⅰ－12　速さ	
24	7/4(月)	4	Ⅰ－13　場合の数	
25	7/6(水)	3	Ⅰ－14　確率	
26	7/11(月)	4	Ⅰ－14　確率	
27	7/13(水)	3	Ⅱ－１　三平方の定理	
28	7/20(水)	3	Ⅱ－２　円・おうぎ形の面積	
29	7/25(月)	4	Ⅱ－３　立体の体積と表面積	
30	7/27(水)	3	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	数的推理Ⅰ（下位）				担当者名	瀬木　翼	
学科	公務員科	コース			学年	1年（A組）	
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　2　回で　15　週実施　）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。						
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。						
使用教材	公務員合格ゼミ　数的推理（いいずな書店）						

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	4	ガイダンス Ⅰ－１　虫食い算	
2	4/13(水)	3	Ⅰ－１　虫食い算	
3	4/18(月)	4	Ⅰ－２　魔方陣	
4	4/20(水)	3	Ⅰ－３　倍数と約数	
5	4/25(月)	4	Ⅰ－３　倍数と約数	
6	4/27(水)	3	Ⅰ－４　整数問題	
7	5/2(月)	4	Ⅰ－４　整数問題	
8	5/9(月)	4	Ⅰ－５　数の性質	
9	5/11(水)	3	Ⅰ－５　数の性質	
10	5/16(月)	4	Ⅰ－６　方程式・不等式	
11	5/18(水)	3	Ⅰ－６　方程式・不等式	
12	5/23(月)	4	Ⅰ－６　方程式・不等式	
13	5/25(水)	3	Ⅰ－７　集合	
14	5/30(月)	4	Ⅰ－７　集合	
15	6/1(水)	3	Ⅰ－８　割合・百分率	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（下位）			担当者名	瀬木　翼
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/6(月)	4	Ⅰ－８　割合・百分率	
17	6/8(水)	3	Ⅰ－９　濃度	
18	6/13(月)	4	Ⅰ－９　濃度	
19	6/15(水)	3	Ⅰ－10　対比	
20	6/20(月)	4	Ⅰ－11　利益	
21	6/22(水)	3	Ⅰ－12　速さ	
22	6/27(月)	4	Ⅰ－12　速さ	
23	6/29(水)	3	Ⅰ－12　速さ	
24	7/4(月)	4	Ⅰ－13　場合の数	
25	7/6(水)	3	Ⅰ－14　確率	
26	7/11(月)	4	Ⅰ－14　確率	
27	7/13(水)	3	Ⅱ－１　三平方の定理	
28	7/20(水)	3	Ⅱ－２　円・おうぎ形の面積	
29	7/25(月)	4	Ⅱ－３　立体の体積と表面積	
30	7/27(水)	3	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	数的推理Ⅰ（下位）				担当者名	瀬木　翼	
学科	公務員科	コース			学年	1年（B組）	
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　2　回で　15　週実施　）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。						
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。						
使用教材	公務員合格ゼミ　数的推理（いいずな書店）						

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	4	ガイダンス Ⅰ－１　虫食い算	
2	4/13(水)	3	Ⅰ－１　虫食い算	
3	4/18(月)	4	Ⅰ－２　魔方陣	
4	4/20(水)	3	Ⅰ－３　倍数と約数	
5	4/25(月)	4	Ⅰ－３　倍数と約数	
6	4/27(水)	3	Ⅰ－４　整数問題	
7	5/2(月)	4	Ⅰ－４　整数問題	
8	5/9(月)	4	Ⅰ－５　数の性質	
9	5/11(水)	3	Ⅰ－５　数の性質	
10	5/16(月)	4	Ⅰ－６　方程式・不等式	
11	5/18(水)	3	Ⅰ－６　方程式・不等式	
12	5/23(月)	4	Ⅰ－６　方程式・不等式	
13	5/25(水)	3	Ⅰ－７　集合	
14	5/30(月)	4	Ⅰ－７　集合	
15	6/1(水)	3	Ⅰ－８　割合・百分率	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（下位）			担当者名	瀬木　翼
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/6(月)	4	Ⅰ－８　割合・百分率	
17	6/8(水)	3	Ⅰ－９　濃度	
18	6/13(月)	4	Ⅰ－９　濃度	
19	6/15(水)	3	Ⅰ－10　対比	
20	6/20(月)	4	Ⅰ－11　利益	
21	6/22(水)	3	Ⅰ－12　速さ	
22	6/27(月)	4	Ⅰ－12　速さ	
23	6/29(水)	3	Ⅰ－12　速さ	
24	7/4(月)	4	Ⅰ－13　場合の数	
25	7/6(水)	3	Ⅰ－14　確率	
26	7/11(月)	4	Ⅰ－14　確率	
27	7/13(水)	3	Ⅱ－１　三平方の定理	
28	7/20(水)	3	Ⅱ－２　円・おうぎ形の面積	
29	7/25(月)	4	Ⅱ－３　立体の体積と表面積	
30	7/27(水)	3	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	数的推理Ⅲ				担当者名	瀬木　翼	
学科	公務員科	コース				学年	2年
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　2　回で　15　週実施　）					授業形態	講義
						単位数	4単位
授業内容	公務員試験の「数的推理」分野の演習と講義を行う。1年次から継続・発展的な内容を取り扱う。						
到達目標	「数的推理」における実践的な知識を養い、高度な問題も解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。						
使用教材	数的処理（数的推理）・資料解釈テキスト＆問題集　（ウイネット）						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	4	1章　数と式の基本	
2	4/12(火)	4	1章　数と式の基本	
3	4/14(木)	4	2章　約数・倍数、記数法	
4	4/19(火)	4	3章　方程式の応用	
5	4/21(木)	4	3章　方程式の応用	
6	4/26(火)	4	4章　連立方程式	
7	4/28(木)	4	4章　連立方程式	
8	5/10(火)	4	5章　不等式	
9	5/17(火)	4	6章　時間・距離・速さ（１）	
10	5/19(木)	4	6章　時間・距離・速さ（１）	
11	5/24(火)	4	7章　時間・距離・速さ（２）	
12	5/26(木)	4	８章　割合・比	
13	5/31(火)	4	９章　濃度	
14	6/2(木)	4	１０章　仕事算	
15	6/7(火)	4	１１章　数列・規則	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）　80　％	学習成果評価（定期試験）　20　％	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅲ			担当者名	瀬木　翼
学科	公務員科	コース		学年	2年

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(木)	4	１２章　魔法陣・覆面算	
17	6/14(火)	4	１３章　その他数量問題	
18	6/16(木)	4	１４章　三角形と多角形	
19	6/21(火)	4	１５章　円	
20	6/23(木)	4	１６章　面積・角度	
21	6/28(火)	4	１７章　立体図形	
22	6/30(木)	4	１８章　場合の数	
23	7/5(火)	4	１９章　順列・組合せ	
24	7/7(木)	4	２０章　確率（１）	
25	7/12(火)	4	２０章　確率（１）	
26	7/14(木)	4	２１章　確率（２）	
27	7/19(火)	4	数的推理　総合演習１	
28	7/21(木)	4	数的推理　総合演習２	
29	7/26(火)	4	数的推理　総合演習３	
30	7/28(木)	4	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	自然科学Ⅰ				担当者名	深井　淳二	
学科	公務員科	コース			学年	1年（A組）	
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　2　回で　15　週実施　）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	自然科学の内、生物・地学・物理を扱う						
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	自然科学　テキスト＆問題集（ウイネット）						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	3	生物　1章　細胞の構造と働き	
2	4/12(火)	4	生物　2章　光合成・呼吸・酵素	
3	4/14(木)	3	生物　3章　恒常性と調節	
4	4/19(火)	4	生物　3章　恒常性と調節	
5	4/21(木)	3	生物　4章　刺激と反応	
6	4/26(火)	4	生物　4章　刺激と反応	
7	4/28(木)	3	生物　4章　刺激と反応	
8	5/10(火)	4	生物　5章　遺伝	
9	5/17(火)	4	生物　5章　遺伝	
10	5/19(木)	3	生物　6章　植物の反応・調節	
11	5/24(火)	4	生物　7章　生殖・発生・進化 生物　8章　生態系・物質の循環	
12	5/26(木)	3	生物　まとめ	
13	5/31(火)	4	地学　1章　地球の構成物質	
14	6/2(木)	3	地学　2章　地球の内部構造と地震	
15	6/7(火)	4	地学　3章　地球の歴史	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅰ			担当者名	深井　淳二
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(木)	3	地学　4章　地球・太陽・月	
17	6/14(火)	4	地学　5章　太陽系・恒星	
18	6/16(木)	3	地学　5章　太陽系・恒星	
19	6/21(火)	4	地学　6章　大気と海洋	
20	6/23(木)	3	地学　7章　天気	
21	6/28(火)	4	地学　まとめ	
22	6/30(木)	3	物理　1章　力の性質	
23	7/5(火)	4	物理　1章　力の性質	
24	7/7(木)	3	物理　2章　物体の運動	
25	7/12(火)	4	物理　3章　運動量・エネルギー	
26	7/14(木)	3	物理　4章　熱とエネルギー	
27	7/19(火)	4	物理　5章　波動	
28	7/21(木)	3	物理　6章　電気回路と磁気	
29	7/26(火)	4	物理　まとめ	
30	7/28(木)	3	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅰ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	自然科学の内、生物・地学・物理を扱う				
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	自然科学　テキスト＆問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	3	生物　1章　細胞の構造と働き	
2	4/12(火)	4	生物　2章　光合成・呼吸・酵素	
3	4/14(木)	3	生物　3章　恒常性と調節	
4	4/19(火)	4	生物　3章　恒常性と調節	
5	4/21(木)	3	生物　4章　刺激と反応	
6	4/26(火)	4	生物　4章　刺激と反応	
7	4/28(木)	3	生物　4章　刺激と反応	
8	5/10(火)	4	生物　5章　遺伝	
9	5/17(火)	4	生物　5章　遺伝	
10	5/19(木)	3	生物　6章　植物の反応・調節	
11	5/24(火)	4	生物　7章　生殖・発生・進化 生物　8章　生態系・物質の循環	
12	5/26(木)	3	生物　まとめ	
13	5/31(火)	4	地学　1章　地球の構成物質	
14	6/2(木)	3	地学　2章　地球の内部構造と地震	
15	6/7(火)	4	地学　3章　地球の歴史	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅰ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(木)	3	地学　4章　地球・太陽・月	
17	6/14(火)	4	地学　5章　太陽系・恒星	
18	6/16(木)	3	地学　5章　太陽系・恒星	
19	6/21(火)	4	地学　6章　大気と海洋	
20	6/23(木)	3	地学　7章　天気	
21	6/28(火)	4	地学　まとめ	
22	6/30(木)	3	物理　1章　力の性質	
23	7/5(火)	4	物理　1章　力の性質	
24	7/7(木)	3	物理　2章　物体の運動	
25	7/12(火)	4	物理　3章　運動量・エネルギー	
26	7/14(木)	3	物理　4章　熱とエネルギー	
27	7/19(火)	4	物理　5章　波動	
28	7/21(木)	3	物理　6章　電気回路と磁気	
29	7/26(火)	4	物理　まとめ	
30	7/28(木)	3	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅲ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　2　回で　15　週実施　）			授業形態	講義
				単位数	4単位
授業内容	公務員試験合格に向け、過去問演習を行う。				
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	公務員試験過去問題プリント				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(水)	3	平成24年度刑務官試験　解答	
2	4/13(水)	4	平成24年度刑務官試験　解説	
3	4/20(水)	3	平成25年度刑務官試験　解答	
4	4/20(水)	4	平成25年度刑務官試験　解説	
5	4/27(水)	3	平成26年度刑務官試験　解答	
6	4/27(水)	4	平成26年度刑務官試験　解説	
7	5/11(水)	3	平成27年度刑務官試験　解答	
8	5/11(水)	4	平成27年度刑務官試験　解説	
9	5/18(水)	3	平成28年度刑務官試験　解答	
10	5/18(水)	4	平成28年度刑務官試験　解説	
11	5/25(水)	3	平成24年度海上保安学校(特別)　解答	
12	5/25(水)	4	平成24年度海上保安学校(特別)　解説	
13	6/1(水)	3	平成25年度海上保安学校(特別)　解答	
14	6/1(水)	4	平成25年度海上保安学校(特別)　解説	
15	6/8(水)	3	平成26年度海上保安学校(特別)　解答	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅲ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/8(水)	4	平成26年度海上保安学校(特別)　解説	
17	6/15(水)	3	平成24年度海上保安学校問題　解答	
18	6/15(水)	4	平成24年度海上保安学校問題　解説	
19	6/22(水)	3	平成25年度海上保安学校問題　解答	
20	6/22(水)	4	平成25年度海上保安学校問題　解説	
21	6/29(水)	3	平成26年度海上保安学校問題　解答	
22	6/29(水)	4	平成26年度海上保安学校問題　解説	
23	7/6(水)	3	平成24年度　国家公務員問題　解答	
24	7/6(水)	4	平成24年度　国家公務員問題　解説	
25	7/13(水)	3	平成25年度　国家公務員問題　解答	
26	7/13(水)	4	平成25年度　国家公務員問題　解説	
27	7/20(水)	3	平成26年度　国家公務員問題　解答	
28	7/20(水)	4	平成26年度　国家公務員問題　解説	
29	7/27(水)	3	復習	
30	7/27(水)	4	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択	
科目名	自然科学演習Ⅰ			担当者名	深井　淳二	
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）	
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義	
				単位数	2単位	
授業内容	自然科学の内、化学を扱う					
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける					
担当教員実務経験	なし					
使用教材	自然科学　テキスト＆問題集（ウイネット）					

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	4	化学　1章　物質の構成・化学結合	
2	4/14(木)	4	化学　1章　物質の構成・化学結合	
3	4/21(木)	4	化学　2章　周期表	
4	4/28(木)	4	化学　3章　物質の状態	
5	5/19(木)	4	化学　4章　化学反応	
6	5/26(木)	4	化学　4章　化学反応	
7	6/2(木)	4	化学　5章　酸・塩基	
8	6/9(木)	4	化学　6章　酸化・還元	
9	6/16(木)	4	化学　6章　酸化・還元	
10	6/23(木)	4	化学　7章　金属の性質	
11	6/30(木)	4	化学　8章　気体の製法と性質	
12	7/7(木)	4	化学　まとめ	
13	7/14(木)	4	物理　4章　熱とエネルギー	
14	7/21(木)	4	物理　5章　電気回路と磁気	
15	7/28(木)	4	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習Ⅰ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	自然科学の内、化学を扱う				
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	自然科学　テキスト＆問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	4	化学　1章　物質の構成・化学結合	
2	4/14(木)	4	化学　1章　物質の構成・化学結合	
3	4/21(木)	4	化学　2章　周期表	
4	4/28(木)	4	化学　3章　物質の状態	
5	5/19(木)	4	化学　4章　化学反応	
6	5/26(木)	4	化学　4章　化学反応	
7	6/2(木)	4	化学　5章　酸・塩基	
8	6/9(木)	4	化学　6章　酸化・還元	
9	6/16(木)	4	化学　6章　酸化・還元	
10	6/23(木)	4	化学　7章　金属の性質	
11	6/30(木)	4	化学　8章　気体の製法と性質	
12	7/7(木)	4	化学　まとめ	
13	7/14(木)	4	物理　4章　熱とエネルギー	
14	7/21(木)	4	物理　5章　電気回路と磁気	
15	7/28(木)	4	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習Ⅲ			担当者名	深井　淳二
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　1,350　分　　総授業回数　15　回 （　90　分授業を、週　1　回で　15　週実施　）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	自然科学（理科）の過去問演習を行う				
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	過去問題を編集したプリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
2	4/19(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
3	4/26(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
4	5/10(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
5	5/17(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
6	5/24(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
7	5/31(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
8	6/7(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
9	6/14(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
10	6/21(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
11	6/28(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
12	7/5(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
13	7/12(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
14	7/19(火)	3	自然科学（理科）の過去問演習と解説	
15	7/26(火)	3	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	人文科学Ⅰ				担当者名	長谷川　靖洋・鈴木　琴絵	
学科	公務員科	コース				学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。						
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。						
担当教員実務経験	長谷川：学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。 鈴木：賃貸リフォーム会社での経理経験と建材販売会社での営業経験に加え、公務員試験一次試験合格の実績から、公務員に必要な知識と教養、事務処理能力が身に付くよう指導する。						
使用教材	″絶対″合格シリーズ　人文科学　（麻生キャリアサポート）						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	2	ガイダンス　日18　近代１（明治１） ／日19　近代２（明治２）	
2	4/12(火)	1	世24　中国史① 世25　中国史②	
3	4/15(金)	2	日20　近代３（明治３） 日21　近代４（明治４）	
4	4/19(火)	1	世24　中国史③ 世25　中国史④	
5	4/22(金)	2	日22　近代５（大正） 日23　近代６（昭和１）	
6	4/26(火)	1	世26　中国史⑤ 世27　中国史⑥	
7	4/29(金)	2	日24　近代７（昭和２） 日25　現代１（戦後１）	
8	5/10(火)	1	世28　中国史⑦ 世29　中国史⑧	
9	5/13(金)	2	日26　現代２（戦後２） 復習演習	
10	5/17(火)	1	世30　中国史⑨ 世31　中国史⑩	
11	5/20(金)	2	日12　近世２（江戸時代１） 日13　近世３（江戸時代２）	
12	5/24(火)	1	世32　中国史⑪ 世33　中国史⑫	
13	5/27(金)	2	日14　近世４（江戸時代３） 日15　近世５（江戸時代４）	
14	5/31(火)	1	世界史　中国史過去問演習	
15	6/7(火)	1	世4　中世ヨーロッパ② 世5　中世ヨーロッパ③	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学Ⅰ			担当者名	長谷川　靖洋・鈴木　琴絵
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/10(金)	2	日16　近世６（江戸時代５） 日17　近世７（江戸時代６）	
17	6/14(火)	1	世6　近世ヨーロッパ① 世7　近世ヨーロッパ②	
18	6/17(金)	2	日９　中世３(南北朝～室町初期) 日10　中世４(室町中期以降～)	
19	6/21(火)	1	世8　近世ヨーロッパ③ 世9　市民革命①	
20	6/24(金)	2	日11　近世１（安土桃山時代） 復習演習	
21	6/28(火)	1	世10　市民革命② 世11　市民革命③	
22	7/1(金)	2	日7　中世１（鎌倉時代初期） 日8　中世２（鎌倉時代中期以降）	
23	7/5(火)	1	世12　ナポレオン時代　世13　産業革命　世14　19C～20Cのヨーロッパ	
24	7/8(金)	2	日5　古代５（平安時代） 日6　古代６（平安時代末期）	
25	7/12(火)	1	世15　19C～20Cのヨーロッパ 世16　帝国主義から世界大戦へ 世17　ロシア革命と戦後の国際社会	
26	7/15(金)	2	日本史過去問演習	
27	7/19(火)	1	世18　戦間期の欧米諸国 世19　第二次世界大戦	
28	7/22(金)	2	日本史過去問演習	
29	7/26(火)	1	世20　戦後と冷戦の始まり 世21　冷戦の拡大、各国の首脳　復習演習	
30	7/29(金)	2	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	人文科学Ⅰ				担当者名	瀬木　翼・鈴木　琴絵	
学科	公務員科	コース				学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。						
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。						
担当教員実務経験	瀬木：学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。 鈴木：賃貸リフォーム会社での経理経験と建材販売会社での営業経験に加え、公務員試験一次試験合格の実績から、公務員に必要な知識と教養、事務処理能力が身に付くよう指導する。						
使用教材	″絶対″合格シリーズ　人文科学　（麻生キャリアサポート）						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	1	ガイダンス　日18　近代１（明治１） ／日19　近代２（明治２）	
2	4/11(月)	2	世24　中国史① 世25　中国史②	
3	4/14(木)	1	日20　近代３（明治３） 日21　近代４（明治４）	
4	4/18(月)	2	世24　中国史③ 世25　中国史④	
5	4/21(木)	1	日22　近代５（大正） 日23　近代６（昭和１）	
6	4/25(月)	2	世26　中国史⑤ 世27　中国史⑥	
7	4/28(木)	1	日24　近代７（昭和２） 日25　現代１（戦後１）	
8	5/2(月)	2	世28　中国史⑦ 世29　中国史⑧	
9	5/9(月)	2	世30　中国史⑨ 世31　中国史⑩	
10	5/16(月)	2	世32　中国史⑪ 世33　中国史⑫	
11	5/19(木)	1	日26　現代２（戦後２） 復習演習	
12	5/23(月)	2	世界史　中国史過去問演習	
13	5/26(木)	1	日12　近世２（江戸時代１） 日13　近世３（江戸時代２）	
14	5/30(月)	2	世4　中世ヨーロッパ② 世5　中世ヨーロッパ③	
15	6/2(木)	1	日14　近世４（江戸時代３） 日15　近世５（江戸時代４）	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学Ⅰ			担当者名	瀬木　翼・鈴木　琴絵
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/6(月)	2	世6　近世ヨーロッパ① 世7　近世ヨーロッパ②	
17	6/9(木)	1	日16　近世６（江戸時代５） 日17　近世７（江戸時代６）	
18	6/13(月)	2	世8　近世ヨーロッパ③ 世9　市民革命①	
19	6/16(木)	1	日９　中世３(南北朝～室町初期) 日10　中世４(室町中期以降～)	
20	6/20(月)	2	世10　市民革命② 世11　市民革命③	
21	6/23(木)	1	日11　近世１（安土桃山時代） 復習演習	
22	6/27(月)	2	世12　ナポレオン時代　世13　産業革命　世14　19C～20Cのヨーロッパ	
23	6/30(木)	1	日7　中世１（鎌倉時代初期） 日8　中世２（鎌倉時代中期以降）	
24	7/4(月)	2	世15　19C～20Cのヨーロッパ 世16　帝国主義から世界大戦へ 世17　ロシア革命と戦後の国際社会	
25	7/7(木)	1	日5　古代５（平安時代） 日6　古代６（平安時代末期）	
26	7/11(月)	2	世18　戦間期の欧米諸国 世19　第二次世界大戦	
27	7/14(木)	1	日本史過去問演習	
28	7/21(木)	1	日本史過去問演習	
29	7/25(月)	2	世20　戦後と冷戦の始まり 世21　冷戦の拡大、各国の首脳　復習演習	
30	7/28(木)	1	前期試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	人文科学Ⅲ				担当者名	長谷川　靖洋	
学科	公務員科	コース				学年	2年
授業時間	総時間数　2,700 分　総授業回数　30 回 （ 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 ）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の「人文科学」分野を問題集を使いながら演習・解説することにより，人文科学の解ける力を養う。						
到達目標	「人文科学」の問題が解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	”絶対”合格シリーズ　人文科学　問題集編・問題集解説編（麻生キャリアサポート） Glexa（e-ラーニングシステム）						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	1	ガイダンス 日本史（近世）(1)	
2	4/11(月)	4	地理（気候・土壌）	
3	4/15(金)	1	世界史（中国史）(1)	
4	4/18(月)	4	日本史（近世）(2)	
5	4/22(金)	1	地理（地形）	
6	4/25(月)	4	世界史（中国史）(2)	
7	4/29(金)	1	日本史（近世）(3)	
8	5/2(月)	4	地理（地図・時差）	
9	5/9(月)	1	世界史（中国史）(3)	
10	5/13(金)	4	日本史（近代）(1)	
11	5/16(月)	1	地理（植生・農業）	
12	5/20(金)	4	世界史（中国史）(4)	
13	5/23(月)	1	日本史（近代）(2)	
14	5/27(金)	4	地理（産業・貿易・発電）	
15	5/30(月)	1	世界史（中国史）(5)	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学Ⅲ			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	2年

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16	6/6(月)	4	日本史（近代）(3)	
17	6/10(金)	1	地理（日本）	
18	6/13(月)	4	世界史（西洋史）(1)	
19	6/17(金)	1	日本史（現代）	
20	6/20(月)	4	地理（アジア・アフリカ）	
21	6/24(金)	1	世界史（西洋史）(2)	
22	6/27(月)	4	日本史（古代）	
23	7/1(金)	1	地理（ヨーロッパ・アメリカ）	
24	7/4(月)	4	世界史（西洋史）(3)	
25	7/8(金)	1	日本史（中世）	
26	7/11(月)	4	地理（人口，その他）	
27	7/15(金)	1	世界史（西洋史）(4)	
28	7/22(金)	4	世界史（西洋史）(5)	
29	7/25(月)	1	世界史（西洋史）(6)	
30	7/29(金)	4	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学演習Ⅰ			担当者名	松井　幸三郎
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験にて出題される「地理」の範囲について一から講義をし、公務員試験が解ける力をつける。				
到達目標	「地理」の基本事項を覚えることができ、公務員試験の出題形式の問題が解けるようになる。				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	”絶対”合格シリーズ　人文科学　（麻生キャリアサポート） Glexa（e-ラーニングシステム）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	2	ガイダンス 1　気候(1)	
2	4/18(月)	2	1　気候(1) 2　気候(2)・土壌	
3	4/25(月)	2	3　風・日本の気候 4　地形(1)	
4	5/2(月)	2	5　地形(2) 6　地形(3)	
5	5/9(月)	2	7　地図 8　世界の農牧業(1)	
6	5/16(月)	2	9　世界の農牧業(2) 10　生産量・輸出量・発電	
7	5/23(月)	2	11　東アジア(1) 12　東アジア(2)	
8	5/30(月)	2	13　東南アジア(1) 14　東南アジア(2)	
9	6/6(月)	2	15　南アジア 16　西アジア	
10	6/13(月)	2	17　アフリカ 18　ヨーロッパ(1)	
11	6/20(月)	2	19　ヨーロッパ(2) 20　ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	6/27(月)	2	21　北アメリカ 22　南アメリカ	
13	7/4(月)	2	23　オセアニア　24　人口 25　漁業・産業	
14	7/11(月)	2	まとめの授業	
15	7/25(月)	2	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学演習Ⅰ			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験にて出題される「地理」の範囲について一から講義をし、公務員試験が解ける力をつける。				
到達目標	「地理」の基本事項を覚えることができ、公務員試験の出題形式の問題が解けるようになる。				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ　人文科学　（麻生キャリアサポート） Glexa（e-ラーニングシステム）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(水)	1	ガイダンス 1　気候(1)	
2	4/20(水)	4	1　気候(1) 2　気候(2)・土壌	
3	4/27(水)	4	3　風・日本の気候 4　地形(1)	
4	5/11(水)	4	5　地形(2) 6　地形(3)	
5	5/18(水)	4	7　地図 8　世界の農牧業(1)	
6	5/25(水)	4	9　世界の農牧業(2) 10　生産量・輸出量・発電	
7	6/1(水)	4	11　東アジア(1) 12　東アジア(2)	
8	6/8(水)	4	13　東南アジア(1) 14　東南アジア(2)	
9	6/15(水)	4	15　南アジア 16　西アジア	
10	6/22(水)	4	17　アフリカ 18　ヨーロッパ(1)	
11	6/29(水)	4	19　ヨーロッパ(2) 20　ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	7/6(水)	4	21　北アメリカ 22　南アメリカ	
13	7/13(水)	4	23　オセアニア　24　人口 25　漁業・産業	
14	7/20(水)	4	まとめの授業	
15	7/27(水)	4	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択	
科目名	社会科学Ⅰ			担当者名	長谷川　靖洋	
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）	
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　2　回で　15　週実施　）			授業形態	講義	
				単位数	4単位	
授業内容	政治および経済分野の知識習得					
到達目標	公務員試験合格					
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。					
使用教材	絶対合格シリーズ「社会科学」テキスト編（麻生キャリアサポート）					

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	1	政治１　統治機構　三権分立	
2	4/11(月)	3	政治２　統治機構　国会(1)	
3	4/14(木)	1	政治２　統治機構　国会(2)	
4	4/18(月)	3	政治３　統治機構　内閣	
5	4/21(木)	1	政治４　統治機構　裁判所	
6	4/25(月)	3	政治５　日本国憲法の基本的性格(1)	
7	4/28(木)	1	政治５　日本国憲法の基本的性格(2)	
8	5/2(月)	3	政治６　地方自治(1)	
9	5/9(月)	1	政治６　地方自治(2)	
10	5/16(月)	3	政治７　選挙制度(1)	
11	5/19(木)	1	政治７　選挙制度(2)	
12	5/23(月)	3	政治８　民主主義の発展	
13	5/26(木)	1	政治９　各国の政治制度	
14	5/30(月)	3	政治10　基本的人権の尊重　自由権	
15	6/2(木)	1	政治11　基本的人権の尊重　社会権	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅰ			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16	6/6(月)	3	政治12　基本的人権の尊重　その他	
17	6/9(木)	1	政治13　国際政治と日本(1)	
18	6/13(月)	3	政治13　国際政治と日本(2)	
19	6/16(木)	1	経済１　経済の仕組み　市場と価格	
20	6/20(月)	3	経済２　企業の仕組み	
21	6/23(木)	1	経済３　景気と物価	
22	6/27(月)	3	経済４　金融と日本銀行の金融政策	
23	6/30(木)	1	経済５　財政政策	
24	7/4(月)	3	経済６　為替レートと貿易	
25	7/7(木)	1	経済７　国際経済との関わり	
26	7/11(月)	3	経済８　国民所得と経済成長	
27	7/14(木)	1	経済９　現代日本経済の構造と課題	
28	7/21(木)	1	経済10　経済学史	
29	7/25(月)	3	問題演習	
30	4/28(木)	1	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	社会科学Ⅰ				担当者名	松井　幸三郎	
学科	公務員科	コース				学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　2　回で　15　週実施　）					授業形態	講義
						単位数	4単位
授業内容	政治および経済分野の知識習得						
到達目標	公務員試験合格						
担当教員実務経験	なし						
使用教材	絶対合格シリーズ「社会科学」テキスト編（麻生キャリアサポート）						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	1	政治１　統治機構　三権分立	
2	4/11(月)	3	政治２　統治機構　国会(1)	
3	4/15(金)	1	政治２　統治機構　国会(2)	
4	4/18(月)	3	政治３　統治機構　内閣	
5	4/22(金)	1	政治４　統治機構　裁判所	
6	4/25(月)	3	政治５　日本国憲法の基本的性格(1)	
7	4/29(金)	1	政治５　日本国憲法の基本的性格(2)	
8	5/2(月)	3	政治６　地方自治(1)	
9	5/9(月)	3	政治６　地方自治(2)	
10	5/13(金)	1	政治７　選挙制度(1)	
11	5/16(月)	3	政治７　選挙制度(2)	
12	5/20(金)	1	政治８　民主主義の発展	
13	5/23(月)	3	政治９　各国の政治制度	
14	5/27(金)	1	政治10　基本的人権の尊重　自由権	
15	5/30(月)	3	政治11　基本的人権の尊重　社会権	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅰ			担当者名	松井　幸三郎
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16	6/6(月)	3	政治12　基本的人権の尊重　その他	
17	6/10(金)	1	政治13　国際政治と日本(1)	
18	6/13(月)	3	政治13　国際政治と日本(2)	
19	6/17(金)	1	経済１　経済の仕組み　市場と価格	
20	6/20(月)	3	経済２　企業の仕組み	
21	6/24(金)	1	経済３　景気と物価	
22	6/27(月)	3	経済４　金融と日本銀行の金融政策	
23	7/1(金)	1	経済５　財政政策	
24	7/4(月)	3	経済６　為替レートと貿易	
25	7/8(金)	1	経済７　国際経済との関わり	
26	7/11(月)	3	経済８　国民所得と経済成長	
27	7/15(金)	1	経済９　現代日本経済の構造と課題	
28	7/22(金)	1	経済10　経済学史	
29	7/25(月)	3	問題演習	
30	7/29(金)	1	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	社会科学Ⅲ				担当者名	加藤　佳明	
学科	公務員科	コース				学年	2年
授業時間	総時間数　2,700　分　　総授業回数　30　回 （　90　分授業を、週　2　回で　15　週実施　）				授業形態	講義	
					単位数	4単位	
授業内容	公務員試験対策						
到達目標	公務員試験合格						
担当教員実務経験	なし						
使用教材	絶対合格シリーズ　社会科学						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	3	民主主義・政治制度	
2	4/11(月)	2	日本国憲法	
3	4/14(木)	3	基本的人権	
4	4/18(月)	2	三権分立	
5	4/21(木)	3	国会	
6	4/25(月)	2	国会	
7	4/28(木)	3	内閣	
8	5/2(月)	2	内閣	
9	5/9(月)	2	裁判所	
10	5/16(月)	2	裁判所	
11	5/19(木)	3	地方自治	
12	5/23(月)	2	選挙制度	
13	5/26(木)	3	国際政治	
14	5/30(月)	2	市場・価格	
15	6/2(木)	3	企業	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅲ			担当者名	加藤　佳明
学科	公務員科	コース		学年	2年

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16	6/6(月)	2	景気・物価	
17	6/9(木)	3	金融	
18	6/13(月)	2	金融	
19	6/16(木)	3	財政	
20	6/20(月)	2	財政	
21	6/23(木)	3	為替・貿易	
22	6/27(月)	2	国際経済	
23	6/30(木)	3	経済指標	
24	7/4(月)	2	日本経済史	
25	7/7(木)	3	経済学史・経済用語	
26	7/11(月)	2	労働事情	
27	7/14(木)	3	社会保障	
28	7/21(木)	3	過去問演習	
29	7/25(月)	2	過去問演習	
30	7/28(木)	3	前期末試験	

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	文章理解Ⅰ				担当者名	長谷川　靖洋	
学科	公務員科	コース				学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）					授業形態	講義
						単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「文章理解」(現代文)分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。						
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	”絶対”合格シリーズ　文章理解（麻生キャリアサポート）						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(水)	2	ガイダンス/文章理解の出題傾向 1　内容一致	
2	4/20(水)	2	1　内容一致	
3	4/27(水)	2	1　内容一致	
4	5/11(水)	2	1　内容一致	
5	5/18(水)	2	2　要旨	
6	5/25(水)	2	2　要旨	
7	6/1(水)	2	2　要旨	
8	6/8(水)	2	3　文章整序	
9	6/15(水)	2	3　文章整序	
10	6/22(水)	2	3　文章整序	
11	6/29(水)	2	3　文章整序	
12	7/6(水)	2	4　空欄補充	
13	7/13(水)	2	4　空欄補充	
14	7/20(水)	2	6　その他	
15	7/27(水)	2	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解Ⅰ			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「文章理解」(現代文)分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。				
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ　文章理解（麻生キャリアサポート）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(火)	3	ガイダンス/文章理解の出題傾向 1　内容一致	
2	4/19(火)	3	1　内容一致	
3	4/26(火)	3	1　内容一致	
4	5/10(火)	3	1　内容一致	
5	5/17(火)	3	2　要旨	
6	5/24(火)	3	2　要旨	
7	5/31(火)	3	2　要旨	
8	6/7(火)	3	3　文章整序	
9	6/14(火)	3	3　文章整序	
10	6/21(火)	3	3　文章整序	
11	6/28(火)	3	3　文章整序	
12	7/5(火)	3	4　空欄補充	
13	7/12(火)	3	4　空欄補充	
14	7/19(火)	3	6　その他	
15	7/26(火)	3	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	文章理解Ⅲ				担当者名	長谷川　靖洋	
学科	公務員科	コース				学年	2年
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）				授業形態	講義	
					単位数	2単位	
授業内容	公務員試験の「文章理解」(現代文)分野を講義することにより、自分で現代文の読解ができ、問題を解くことができる。						
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	高卒程度　公務員試験対策　国語・英語・文章理解　テキスト＆問題集（ウイネット）						

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(火)	1	ガイダンス / 現代文　内容一致	
2	4/19(火)	1	現代文　内容一致	
3	4/26(火)	1	現代文　内容一致	
4	5/10(火)	1	現代文　内容一致	
5	5/17(火)	1	現代文　要旨	
6	5/24(火)	1	現代文　要旨	
7	5/31(火)	1	現代文　要旨	
8	6/7(火)	1	現代文　文章整序	
9	6/14(火)	1	現代文　文章整序	
10	6/21(火)	1	現代文　文章整序	
11	6/28(火)	1	現代文　空欄補充	
12	7/5(火)	1	現代文　空欄補充	
13	7/12(火)	1	確認演習	
14	7/19(火)	1	確認演習	
15	7/26(火)	1	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性Ⅰ			担当者名	菅野　祥一
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験における適性試験及び作文試験対策				
到達目標	各公務員試験の適性試験（事務系のみ）及び作文試験において合格基準を満たす				
担当教員実務経験	保険会社でルートセールス営業や社員の管理・育成に携わった。また、人事コンサルタントとして働き方改革事業の企画・運営や研修業務を担当していることから、一人でも多くの学生の自己肯定感を引き出したい。				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	1	適性試験　作文の書き方 公務員として活かしたい私の長所	
2	4/15(金)	1	適性試験 失敗から学んだこと	
3	4/22(金)	1	適性試験 仕事をする上で最も大切だと思うこと	
4	4/29(金)	1	適性試験 他人に対する配慮について思うこと	
5	5/13(金)	1	適性試験 これからチャレンジしたいこと	
6	5/20(金)	1	適性試験 大人と子供の違いについて	
7	5/27(金)	1	適性試験 自分が成長したと思うこと	
8	6/3(金)	1	適性試験 言葉の大切さについて思うこと	
9	6/10(金)	1	適性試験 住民から信頼される公務員に大切なこと	
10	6/17(金)	1	適性試験 今の私と将来の私	
11	6/24(金)	1	適性試験 私を変えた一言、忘れられない一言	
12	7/1(金)	1	適性試験 目標を立ててチャレンジしたこと	
13	7/8(金)	1	適性試験 今までで最も感動したこと	
14	7/15(金)	1	適性試験 人と接する上で必要なこと	
15	7/22(金)	1	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性Ⅰ			担当者名	漆畑　貴久
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験における適性試験及び作文試験対策				
到達目標	各公務員試験の適性試験（事務系のみ）及び作文試験において合格基準を満たす				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/13(水)	2	適性試験　作文の書き方 公務員として活かしたい私の長所	
2	4/20(水)	2	適性試験 失敗から学んだこと	
3	4/27(水)	2	適性試験 仕事をする上で最も大切だと思うこと	
4	5/11(水)	2	適性試験 他人に対する配慮について思うこと	
5	5/18(水)	2	適性試験 これからチャレンジしたいこと	
6	5/25(水)	2	適性試験 大人と子供の違いについて	
7	6/1(水)	2	適性試験 自分が成長したと思うこと	
8	6/8(水)	2	適性試験 言葉の大切さについて思うこと	
9	6/15(水)	2	適性試験 住民から信頼される公務員に大切なこと	
10	6/22(水)	2	適性試験 今の私と将来の私	
11	6/29(水)	2	適性試験 私を変えた一言、忘れられない一言	
12	7/6(水)	2	適性試験 目標を立ててチャレンジしたこと	
13	7/13(水)	2	適性試験 今までで最も感動したこと	
14	7/20(水)	2	適性試験 人と接する上で必要なこと	
15	7/27(水)	2	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性Ⅲ			担当者名	漆畑　貴久
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験における適性試験及び作文試験対策				
到達目標	各公務員試験の適性試験（事務系のみ）及び作文試験において合格基準を満たす				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/13(水)	1	適性試験　（Ｒ３入国警備官）「目標達成のために心掛けていること」	
2	4/20(水)	1	適性試験　（Ｒ３刑務官）「人から信頼されるために大切にしていること」	
3	4/27(水)	1	適性試験（Ｒ３国家）「物事を継続するために必要だと感じたことについて具体的に述べなさい」	
4	5/11(水)	1	適性試験　（Ｒ３皇宮護衛官）「良好な人間関係を築くために必要だと思うこと」	
5	5/18(水)	1	適性試験　（Ｒ３裁判所）「「力(ちから)」について」	
6	5/25(水)	1	適性試験　（Ｒ２刑務官）「ルールの必要性について」	
7	6/1(水)	1	適性試験（Ｒ２国家）「これまでの経験を踏まえて「仕事をする」ということについて思うこと」	
8	6/8(水)	1	適性試験　（Ｒ２皇宮護衛官）「困難を乗り越えるために必要なこと」	
9	6/15(水)	1	適性試験　（Ｒ２裁判所）「「学ぶ」ということについて」	
10	6/22(水)	1	適性試験　（Ｒ１国家）「成人としての自覚ある言動について思うこと」	
11	6/29(水)	1	適性試験　（Ｒ１皇宮護衛官）「家庭や学校生活以外で学んだこと」	
12	7/6(水)	1	適性試験　（Ｈ３０国家）「時間の使い方について思うこと」	
13	7/13(水)	1	適性試験　（Ｈ３０入国警備官）「優しさと厳しさについて思うこと」	
14	7/20(水)	1	適性試験　（Ｈ３０皇宮護衛官）「報告・連絡・相談の大切さについて」	
15	7/27(水)	1	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	資料解釈Ⅰ				担当者名	瀬木　翼	
学科	公務員科	コース			学年	1年（A組）	
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）				授業形態	講義	
					単位数	2単位	
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。						
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。						
使用教材	公務員合格ゼミ　数的推理（いいずな書店）						

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/13(水)	1	適性検査① ガイダンス	
2	4/20(水)	1	適性検査② Ⅲ－１　指数	
3	4/27(水)	1	適性検査③ Ⅲ－１　指数	
4	5/11(水)	1	適性検査④ Ⅲ－２　増加率	
5	5/18(水)	1	適性検査⑤ Ⅲ－２　増加率	
6	5/25(水)	1	適性検査⑥ Ⅲ－３　割合	
7	6/1(水)	1	適性検査⑦ Ⅲ－４　実数	
8	6/8(水)	1	適性検査⑧ Ⅲのまとめ	
9	6/15(水)	1	適性検査⑨ Ⅱ－４　角度	
10	6/22(水)	1	適性検査⑩ Ⅱ－４　角度	
11	6/29(水)	1	適性検査⑪ Ⅱ－５　円の性質	
12	7/6(水)	1	適性検査⑫ Ⅱ－６　図形の相似	
13	7/13(水)	1	適性検査⑬ 資料解釈総合問題①	
14	7/20(水)	1	適性検査⑭ 資料解釈総合問題②　期末試験対策	
15	7/27(水)	1	期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期		必修・選択	選択	
科目名	資料解釈Ⅰ				担当者名	瀬木　翼	
学科	公務員科	コース				学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）					授業形態	講義
						単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。						
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。						
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。						
使用教材	公務員合格ゼミ　数的推理（いいずな書店）						

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/12(火)	1	適性検査① ガイダンス	
2	4/19(火)	1	適性検査② Ⅲ－１　指数	
3	4/26(火)	1	適性検査③ Ⅲ－１　指数	
4	5/10(火)	1	適性検査④ Ⅲ－２　増加率	
5	5/17(火)	1	適性検査⑤ Ⅲ－２　増加率	
6	5/24(火)	1	適性検査⑥ Ⅲ－３　割合	
7	5/31(火)	1	適性検査⑦ Ⅲ－４　実数	
8	6/7(火)	1	適性検査⑧ Ⅲのまとめ	
9	6/14(火)	1	適性検査⑨ Ⅱ－４　角度	
10	6/21(火)	1	適性検査⑩ Ⅱ－４　角度	
11	6/28(火)	1	適性検査⑪ Ⅱ－５　円の性質	
12	7/5(火)	1	適性検査⑫ Ⅱ－６　図形の相似	
13	7/12(火)	1	適性検査⑬ 資料解釈総合問題①	
14	7/19(火)	1	適性検査⑭ 資料解釈総合問題②　期末試験対策	
15	7/26(火)	1	期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	資料解釈Ⅲ			担当者名	瀬木　翼
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野の演習と講義を行う。1年次から継続・発展的な内容を取り扱う。				
到達目標	「数的推理」における実践的な知識を養い、高度な問題も解けるようになる。				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	数的処理（数的推理）・資料解釈テキスト＆問題集　（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	2	適性検査① 序章　資料解釈の基本	
2	4/15(金)	2	適性検査② 1章　実数と構成比	
3	4/22(金)	2	適性検査③ 1章　実数と構成比	
4	4/29(金)	2	適性検査④ 2章　指数と構成比	
5	5/13(金)	2	適性検査⑤ 2章　指数と構成比	
6	5/20(金)	2	適性検査⑥ 3章　増減率	
7	5/27(金)	2	適性検査⑦ 3章　増減率	
8	6/10(金)	2	適性検査⑧ 4章　特殊な数表・図表	
9	6/17(金)	2	適性検査⑨ 総合演習問題①	
10	6/24(金)	2	適性検査⑩ 総合演習問題②	
11	7/1(金)	2	適性検査⑪ 総合演習問題③	
12	7/8(金)	2	適性検査⑫ 総合演習問題④	
13	7/15(金)	2	適性検査⑬ 総合演習問題⑤	
14	7/22(金)	2	適性検査⑭ 総合演習問題⑥	
15	7/29(金)	2	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　80　%	学習成果評価（定期試験）　20　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	公務員演習Ⅲ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　1,350　分　　総授業回数　15　回 （　90　分授業を、週　1　回で　15　週実施　）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験の合格に向け、25問50分の過去問演習を行う。				
到達目標	知識の復習、試験に慣れる。公務員試験合格。				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	公務員試験過去問題のオリジナルプリント				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	3	50分模擬試験　第1回	
2	4/15(金)	3	50分模擬試験　第2回	
3	4/22(金)	3	50分模擬試験　第3回	
4	4/29(金)	3	50分模擬試験　第4回	
5	5/13(金)	3	50分模擬試験　第5回	
6	5/20(金)	3	50分模擬試験　第6回	
7	5/27(金)	3	50分模擬試験　第7回	
8	6/10(金)	3	50分模擬試験　第8回	
9	6/17(金)	3	50分模擬試験　第9回	
10	6/24(金)	3	50分模擬試験　第10回	
11	7/1(金)	3	50分模擬試験　第11回	
12	7/8(金)	3	50分模擬試験　第12回	
13	7/15(金)	3	50分模擬試験　第13回	
14	7/22(金)	3	50分模擬試験　第14回	
15	7/29(金)	3	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能Ⅰ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験・漢字検定に向けた「漢字テスト」の実施ならびに、公務員試験で知っておきたい一般常識について講義する。また、適性検査の練習も行う。				
到達目標	漢字の読み取り・書き取りの力が向上し、一般常識が分かるようになる。				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	新編　級別漢字セミナー（浜島書店） 一般常識チェック＆マスター（実教出版）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(火)	3	漢字テスト①　適性試験 ことわざ／故事成語	
2	4/19(火)	3	漢字テスト②　適性試験 ことわざ／故事成語	
3	4/26(火)	3	漢字テスト③　適性試験 四字熟語(Ⅰ)	
4	5/10(火)	3	漢字テスト④　適性試験 四字熟語(Ⅰ)	
5	5/17(火)	3	漢字テスト⑤　適性試験 四字熟語(Ⅱ)	
6	5/24(火)	3	漢字テスト⑥　適性試験 四字熟語(Ⅱ)	
7	5/31(火)	3	適性試験 国語の常識問題(Ⅰ)	
8	6/7(火)	3	漢字テスト⑦　適性試験 国語の常識問題(Ⅱ)	
9	6/14(火)	3	漢字テスト⑧　適性試験 社会の常識問題(Ⅰ)	
10	6/21(火)	3	漢字テスト⑨　適性試験 同字異読語の読み	
11	6/28(火)	3	漢字テスト⑩　適性試験 読みにくい漢字	
12	7/5(火)	3	漢字テスト⑪　適性試験 同音異義語の書き取り	
13	7/12(火)	3	漢字テスト⑫　適性試験 同訓異義語の書き取り	
14	7/19(火)	3	漢字テスト⑬　適性試験 同義語・対義語／漢字の総合問題	
15	7/26(火)	3	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能Ⅰ			担当者名	菅野　祥一
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験・漢字検定に向けた「漢字テスト」の実施ならびに、公務員試験で知っておきたい一般常識について講義する。また、適性検査の練習も行う。				
到達目標	漢字の読み取り・書き取りの力が向上し、一般常識が分かるようになる。				
担当教員実務経験	保険会社でルートセールス営業や社員の管理・育成に携わった。また、人事コンサルタントとして働き方改革事業の企画・運営や研修業務を担当していることから、一人でも多くの学生の自己肯定感を引き出したい。				
使用教材	新編　級別漢字セミナー（浜島書店） 一般常識チェック＆マスター（実教出版）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(金)	2	ガイダンス　適性試験 ことわざ／故事成語	
2	4/15(金)	2	漢字テスト①　適性試験 ことわざ／故事成語	
3	4/22(金)	2	漢字テスト②　適性試験 四字熟語(Ⅰ)	
4	4/29(金)	2	漢字テスト③　適性試験 四字熟語(Ⅰ)	
5	5/13(金)	2	漢字テスト④　適性試験 四字熟語(Ⅱ)	
6	5/20(金)	2	漢字テスト⑤　適性試験 四字熟語(Ⅱ)	
7	5/27(金)	2	漢字テスト⑥　適性試験 国語の常識問題(Ⅰ)	
8	6/10(金)	2	漢字テスト⑦　適性試験 国語の常識問題(Ⅱ)	
9	6/17(金)	2	漢字テスト⑧　適性試験 社会の常識問題(Ⅰ)	
10	6/24(金)	2	漢字テスト⑨　適性試験 同字異読語の読み	
11	7/1(金)	2	漢字テスト⑩　適性試験 読みにくい漢字	
12	7/8(金)	2	漢字テスト⑪　適性試験 同音異義語の書き取り	
13	7/15(金)	2	漢字テスト⑫　適性試験 同訓異義語の書き取り	
14	7/22(金)	2	漢字テスト⑬　適性試験 同義語・対義語／漢字の総合問題	
15	7/29(金)	2	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能Ⅲ			担当者名	董　信子
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	面接対策、ビジネスマナー、公務員試験全般についての指導				
到達目標	社会人として身に付けておくべきビジネスマナーの習得。 公務員試験に向かう者としての必要な面接マナーの習得。				
担当教員実務経験	客室乗務員として国際線に乗務し、機内通訳や機内アナウンスも担当。この経験から学んだことをもとに、面接対策だけでなく、社会人として必要なマナーや良いコミュニケーションの取り方なども伝えていく。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(木)	1	ガイダンス	
2	4/14(木)	1	第一印象①（挨拶・笑顔）	
3	4/21(木)	1	第一印象②（立居振舞）	
4	4/28(木)	1	第一印象③（美しい日本語）	
5	5/19(木)	1	第一印象④（身だしなみ）	
6	5/26(木)	1	自己分析（長所・短所）	
7	6/2(木)	1	他己分析	
8	6/9(木)	1	書類対策（自己PR）	
9	6/16(木)	1	グループディスカッション	
10	6/23(木)	1	面接対策①（集団）	
11	6/30(木)	1	面接対策②（集団）	
12	7/7(木)	1	面接対策③（個人）	
13	7/14(木)	1	面接対策④（個人）	
14	7/21(木)	1	総まとめ	
15	7/28(木)	1	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　30　%	学習成果評価（定期試験）　70　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択	
科目名	専門演習Ⅰ			担当者名	水谷　奈月	
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）	
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義	
				単位数	2単位	
授業内容	確認テストならびに適性試験練習の実施					
到達目標	確認テストで授業内容の振り返りができる					
担当教員実務経験	なし					
使用教材	プリントを使用					

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	1	公務員試験ガイダンス	
2	4/18(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
3	4/25(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
4	5/2(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
5	5/9(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
6	5/16(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
7	5/23(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
8	5/30(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
9	6/6(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
10	6/13(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
11	6/20(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
12	6/27(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
13	7/4(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
14	7/11(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
15	7/25(月)	1	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　50　%	学習成果評価（定期試験）　50　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択	
科目名	専門演習Ⅰ			担当者名	森　登志男	
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）	
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義	
				単位数	2単位	
授業内容	確認テストならびに適性試験練習の実施					
到達目標	確認テストで授業内容の振り返りができる					
担当教員実務経験	なし					
使用教材	プリントを使用					

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	1	公務員試験ガイダンス	
2	4/18(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
3	4/25(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
4	5/2(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
5	5/9(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
6	5/16(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
7	5/23(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
8	5/30(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
9	6/6(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
10	6/13(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
11	6/20(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
12	6/27(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
13	7/4(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
14	7/11(月)	1	確認テスト，適性試験練習	
15	7/25(月)	1	前期末試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　50　%	学習成果評価（定期試験）　50　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	専門演習Ⅱ			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（A組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 10 回で 2 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験の過去問題を解き，解説講義を受けることで理解が深まる。				
到達目標	公務員試験に合格できる。				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員試験過去問（プリント使用）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	8/18(木)	1	過去問題演習	
2	8/18(木)	2	過去問題の解説講義	
3	8/19(金)	1	過去問題演習	
4	8/19(金)	2	過去問題の解説講義	
5	8/22(月)	1	過去問題演習	
6	8/22(月)	2	過去問題の解説講義	
7	8/23(火)	1	過去問題演習	
8	8/23(火)	2	過去問題の解説講義	
9	8/24(水)	1	過去問題演習	
10	8/24(水)	2	過去問題の解説講義	
11	8/25(木)	1	過去問題演習	
12	8/25(木)	2	過去問題の解説講義	
13	8/26(金)	1	過去問題演習	
14	8/26(金)	2	過去問題の解説講義	
15	8/29(月)	1	過去問題演習	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	専門演習Ⅱ			担当者名	長谷川　靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年（B組）
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 10 回で 2 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験の過去問題を解き，解説講義を受けることで理解が深まる。				
到達目標	公務員試験に合格できる。				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員試験過去問（プリント使用）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	8/18(木)	1	過去問題演習	
2	8/18(木)	2	過去問題の解説講義	
3	8/19(金)	1	過去問題演習	
4	8/19(金)	2	過去問題の解説講義	
5	8/22(月)	1	過去問題演習	
6	8/22(月)	2	過去問題の解説講義	
7	8/23(火)	1	過去問題演習	
8	8/23(火)	2	過去問題の解説講義	
9	8/24(水)	1	過去問題演習	
10	8/24(水)	2	過去問題の解説講義	
11	8/25(木)	1	過去問題演習	
12	8/25(木)	2	過去問題の解説講義	
13	8/26(金)	1	過去問題演習	
14	8/26(金)	2	過去問題の解説講義	
15	8/29(月)	1	過去問題演習	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　%	学習成果評価（定期試験）　80　%

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	専門演習Ⅲ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　1,350 分　総授業回数　15 回 （ 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 ）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	公務員試験の合格に向け、前の週に行った勉強内容を復習するため、確認テストを行う。成績不良者は水曜日の４時間目に補習を行う。また、適性検査の練習も行う。				
到達目標	前の週に行った勉強内容の理解。公務員試験合格。				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	オリジナル確認テスト。適性検査。				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	1	適性検査 問題演習	
2	4/18(月)	1	適性検査 確認テスト①	
3	4/25(月)	1	適性検査 確認テスト②	
4	5/2(月)	1	適性検査 確認テスト③	
5	5/9(月)	1	適性検査 問題演習	
6	5/16(月)	1	適性検査 確認テスト④	
7	5/23(月)	1	適性検査 確認テスト⑤	
8	5/30(月)	1	適性検査 確認テスト⑥	
9	6/6(月)	1	適性検査 確認テスト⑦	
10	6/13(月)	1	適性検査 確認テスト⑧	
11	6/20(月)	1	適性検査 確認テスト⑨	
12	6/27(月)	1	適性検査 確認テスト⑩	
13	7/4(月)	1	適性検査 確認テスト⑪	
14	7/11(月)	1	適性検査 確認テスト⑫	
15	7/25(月)	1	前期試験	

定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点）　20　％	学習成果評価（定期試験）　80　％

開講年度	令和　4　年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	専門演習Ⅳ			担当者名	田口　和吉
学科	公務員科	コース		学年	2年
授業時間	総時間数　1,350　分　　総授業回数　15　回 （　90　分授業を、週　10　回で　2　週実施　）			授業形態	講義
				単位数	2単位
授業内容	①　事務適性検査の練習問題を解く。 ②　公務員試験の過去問題を解く。 ③　②の解説を受ける。				
到達目標	事務適性検査の点数が上がり，公務員試験の過去問が解けるようになる。				
担当教員実務経験	なし				
使用教材	教員が作成したプリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	8/18(木)	1	H28高卒国家演習 適性練習	
2	8/18(木)	2	上記の解説	
3	8/19(金)	1	H28海保(特)演習 適性練習	
4	8/19(金)	2	上記の解説	
5	8/22(月)	1	H29高卒国家演習 適性練習	
6	8/22(月)	2	上記の解説	
7	8/23(火)	1	H29海保(特)演習 適性練習	
8	8/23(火)	2	上記の解説	
9	8/24(水)	1	H30高卒国家演習 適性練習	
10	8/24(水)	2	上記の解説	
11	8/25(木)	1	H30海保(特)演習 適性練習	
12	8/25(木)	2	上記の解説	
13	8/26(金)	1	R01高卒国家演習 適性練習	
14	8/26(金)	2	上記の解説	
15	8/29(月)	1	R01海保(特)演習 適性練習	

定期試験	実技	
評価基準	学習過程評価（平常点）　100　%	学習成果評価（定期試験）　0　%